

特集

アクション！ごみ減量！

—あなたのアクションが葦崎市の未来を救う—

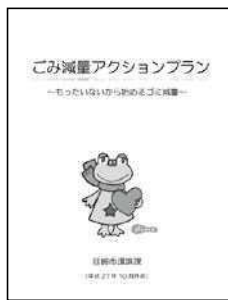


平成27年度に策定された「ごみ減量アクションプラン」。今年度が目標の最終年度です。「1人1日あたり5%削減」、重さにするとも1人1日あたり28g削減することを目標にしています。

この機会にもう一度、ごみの出し方について見直してみませんか？あなたのアクションが葦崎の未来を救うかもしません。

●ごみの現状と成果

今から4年前の平成26年度、本市の生活ごみは人口が減少しているにもかかわらず、排出量が増加に転じるという事態が発生しました。自然豊かな葦崎市を次世代に引き継ぐためにも一人ひとりがごみに対する意識向上を図り、ライフスタイルを見直す必要があると考え、27年度に「ごみ減量アクションプラン」を策定し、今日まで市民・事業者・市が協力して取り組んできました。



▲ごみ減量アクションプラン

取り組みの結果、平成27年度をピークにごみの排出量は減少に転じました。ピーク時と比較して、平成29年度末で約250トンの減量に成功しました。しかし、1人1日あたりの排出量で比較してみると依然として10年前より高い水準で推移しています。平成20年は540gであったものが、平成29年度末には542gで、ごみ減量アクションプラン

ランの目標である520gを達成することが大変困難な状況にあります。

【別表】1人1日あたりのごみ排出量

※目標 520g

(単位：g)

市	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
葦崎市		554.28	547.16	541.92
北杜市		397.50	404.59	418.25
甲斐市 (旧竜王を除く)		574.47	568.99	563.20

峡北広域環境衛生センター（エコパークたつおか）で共同処理している北杜市・甲斐市（旧双葉町・旧敷島町）の状況は「別表」のとおりです。ごみの排出量は人口規模が異なるので比較できませんが、1人1日当たりの排出量は、甲斐市は本市より20gほど多く、北杜市はなんと本市より120g程少ない状況です。北杜市は県内一のリサイクル率（20%）で、ごみ袋の記名式を導入し、無記名のごみは運搬しません。



ごみステーションに出されているごみ袋を見てみると、可燃ごみの中には、ミックス紙として出せる紙類、ペットボトルが、不燃ごみには飲料用の缶・ビンがそれぞれ入っているものが見受けられます。改めて、資源リサイクルの取り組みを徹底し、限りある資源を有効に利用していきましょう。

また、市では市内から出された生活ごみであることを見分けるため、また処分を円滑に進めるために指定のごみ袋を使用しています。ごみ出しには指定のごみ袋の使用にご協力ください。

●すぐできるごみ減量の取り組み

ごみ減量アクションプラン終了まで残り半年です。今から目標を達成するために、すぐできる取り組みを紹介いたします。皆さんも今日から取り組んでみましょう。

① 資源物は全てリサイクル

ペットボトル、缶、新聞紙、本、ダンボール、牛乳パック、ミックス紙（ティッシュペーパーやよごれた紙などを除く全ての紙類）は資源物です。大切な資源をリサイクルすることがごみの減量につながります。さらに処理費用の節約にもなります。



② 生ごみは水切りをする

水切りをしないと残った水分でゴミが重くなります。また、可燃ゴミで処理する時に焼却炉内の温度を下げて効率を低下させてしまいます。家庭菜園を行っている方は、生ごみをたい肥化し活用すれば、生ごみはゼロになります。

※生ごみ処理機・コンポスト購入費補助金があります。詳しくは担当まで



③ 普段から4Rを意識する

(1) Refuse (リヒューズ)

マイバックの持参でレジ袋を断りましょう。過剰包装やゴミになるものも断りましょう。

(2) Reuse (リユース)

まだ使える物は、違った形で再利用するか、売ったり譲ったりしましょう。

(3) Reduce (リデュース)

洗剤や調味料等詰替えや補充商品を活用し、ゴミを減らしましょう。

(4) Recycle (リサイクル)

①を参考に、資源物をリサイクルするため、消費者である私たちが積極的に「分別排出」をするように努めましょう。



④ 事業系ごみをごみステーションに持ち込ませない

会社やお店、自営業のごみは、ごみステーションには出さず、事業者がごみ収集を依頼するなど事業者の責任でごみを処分することが廃棄物処理法で定められています。発見した場合は、生活環境担当へご連絡ください。

20・10 運動

宴会でお酒や会話に夢中になり、料理を残した経験がありませんか？宴会では『20・10運動』を心掛けましょう。コース料理は次から次へと出てきます。温かい料理は温かいうちに、生ものは新鮮なうちに美味しくいただきます。量が多い時は小盛を選んで注文したり、他の人とシェアしたりして食べきるよう努めましょう。



- ①食べきり宣言をしましょう。
- ②会の始まり20分は自分の席で料理を楽しみましょう。
- ③会の終わり10分は自分の席に戻って、料理を楽しみましょう。
- ④食べきれない分は、他の方に譲りましょう。

冷蔵庫クリーンデー

家庭での取り組みで注目するのは冷蔵庫です。賞味期限、消費期限が切れた食品が冷蔵庫の奥に入っていた経験はありませんか？食卓に並ばず捨てられては生産者が悲しみます。

必要な食品を、必要なときに、必要な量だけ購入し、毎月第2、第4土曜日は冷蔵庫の中にあるものを使って食事を作ってみませんか？

また、自宅で食事を作る時は「食べ切れる量」を作りましょう。家族の人数や食べ切れる量を考えながら献立をたて、腹八分目を目指して健康で楽しい食事にしましょう。万が一余っても、冷凍庫を活用して、捨てる食品を減らしましょう。

